



# 妙高高原南小学校

所在地 妙高市関川 1592 番地

電話 86-2104 FAX 86-3212

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogenminami-s/>



## 1 学校の概要

- (1) 創立 明治5年11月5日
- (2) 教職員 校長 渡辺修司 教頭 三田村尚子  
教諭5名 講師1 養護教諭1名 主事1名 用務員1名 教育補助員1名
- (3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	1	7	0	7
第2学年	1	3	3	6
第3学年	1	3	7	10
第4学年	1	4	6	10
第5学年	1	5	8	13
第6学年	1	5	4	9
合 計	6	27	28	55

## 2 学校経営の基本構想

- (1) 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
- (2) 学習指導と生徒指導に全力を尽くす職員集団とそのための体制整備
- (3) 150年の歴史と新たなスタートを意識した教育活動の推進
- (4) 生き生きと学ぶ子どもの姿の積極的な発信

## 3 教育目標

「みんな なかよし」

## 4 年度の重点目標及び努力事項

合い言葉 「文武両道」

キーワード「自分で 自分から」

- (1) 重点目標
  - 自分で考え、自分から表現する子
  - ともに認め合い支え合う子
  - 健康でたくましい心身をはぐくむ子
- (2) 努力事項
  - <知>
    - 授業改善
    - 思考力を高める取組
    - 中学校区、家庭、地域との連携
  - <徳>
    - 授業改善
    - 縦割り班活動の充実
    - 中学校区、家庭、地域との連携
  - <体>
    - 授業改善
    - 体育的行事の活用と場の設定
    - 中学校区、家庭、地域との連携

## 5 研修計画

- (1) 研究主題「子どもが目的意識をもち、主体的に学ぶ単元構成の工夫」  
～自分から考え、自分から表現する子どもを目指して～

## (2) 主題設定の理由

昨年度は、外国語科・外国語活動において、聞く・考える力を高めることに焦点を当てて授実践を行い、子どもが話したくなる学習のあり方を探った。

実践を重ねていくごとに、聞いて考えたり、話したりする手立てを工夫することで、考えたことを話したいという児童の姿が見られるようになった。また、バックワードデザインによる単元構成をすることで、1時間ごとのねらいや手立てが明確となり、効果的に学習を積み重ねることができた。また、子どもたちの意欲が高まり、熱心に聞いたり、考えたり、話したりする姿が見られるようになった。

しかし、このような児童は限定的で、自信をもって表現できる児童は依然少ない。また、他教科でも、自分の考えをなかなかもてない、自信をもって表現できないという姿が見られる。

そこで、外国語科や外国語活動で引き続き実践を積み重ね、自信をもって表現する力を高めるとともに、バックワードデザインによる単元構成を他教科でも取り入れ、目的意識をしっかりともち、主体的に聞いたり、読んだりしながら、自分から考え、自分から表現する子どもを目指したい。

## (3) 研究内容

○バックワードデザインによる単元構成の工夫

- ①明確で魅力的な単元のゴールを設定する。
- ②1時間ごとのねらい、手立てや課題を明確にする。

## 6 SDGs推進計画

妙高高原地区においても、人口減少に伴う児童数の減少は加速的に進み、令和5年度には統合を迎える。未来を担う子どもたちに、ふるさと妙高への郷土愛を醸成することは、自ら地域課題を解決する担い手の育成に繋がる。妙高市SDG未来都市計画を受け、教育目標・重点目標を具現化していく。

- ①未来を見据えた主体性を身に付ける教育を強化
- ②地域への参画と人との関わり合いの充実

## 7 主な行事の予定

- 4月：始業式 入学式 1年生を迎える会 避難訓練
- 5月：150周年記念運動会
- 6月：交流活動（南小校区）
- 7月：終業式
- 8月：始業式 避難訓練
- 9月：交流活動（北小校区）合同マラソン大会
- 10月：150周年記念学習発表会
- 12月：スキー結団式 終業式
- 1月：始業式 避難訓練
- 2月：雪まつり
- 3月：6年生を送る会 終業式 卒業式 閉校式典